

地質調査業務のDXによる効率化と自社データ資産の収益化基盤構築

事業者名: 有限会社 貴建設 (所在地: 西原町 / 業種: ボーリング調査)

総事業費: 11,131,430円(税込み)

1. 事業内容

2. 事業効果イメージ

(1) 概要

- ① 事業目的
現場で根付くDXの実現と、地盤データを活用した新たな収益基盤の構築
- ② 事業概要
 - 検索拡張生成(RAG)型AIと過去データを活用し、現場作業から報告書作成までを効率化
 - 柱状図検索サービス「TAKAMAP」を有料化し、収益化を図る
 - 外部提供を見据え、調査支援ツールの仕組みを設計する
- ③ 連携ITベンダー: 株式会社レキサス

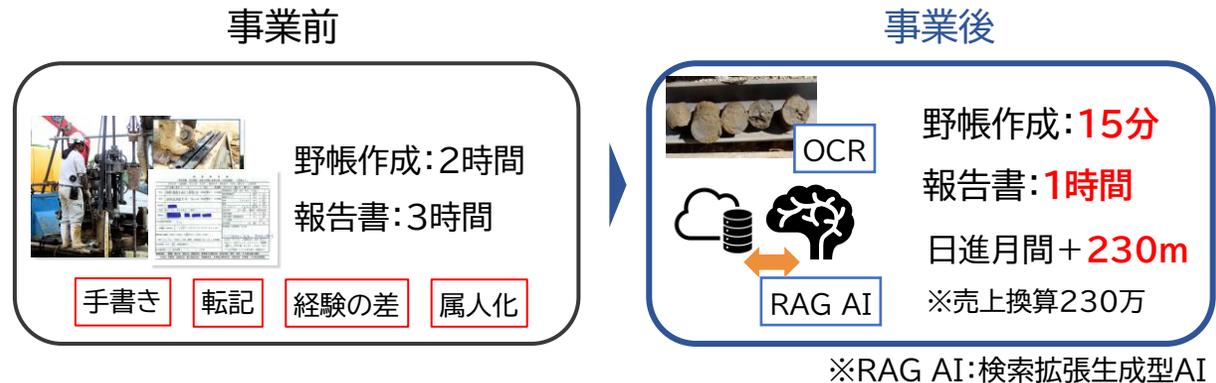
(2) 見込まれる効果

- 現場での野帳作成時間の短縮: 2時間 → 15分
- 日進平均(調査深度)の増加: 月間約 +230m (売上換算230万)
- TAKAMAP収益化: 0円 → 月1~2万円 (試験運用時)

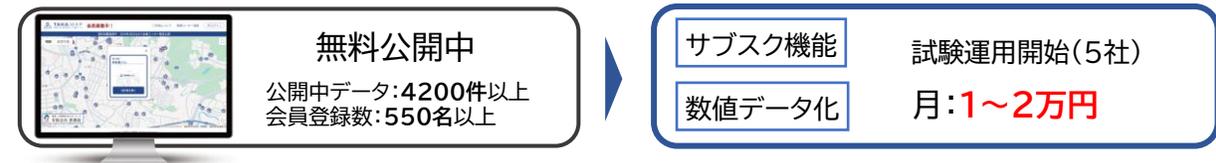
(3) 本事業終了後のビジネス展開や今後のDXに向けた取組

- TAKAMAPを法人向けに有料展開(月収益10万円規模)
- AIの活用で野帳作成~報告書を自動化し社内標準化
- 外部展開へ向けて調査支援ツールをクラウドサービス化する

現場業務のデジタル化



柱状図検索サービス「TAKAMAP」有料化



3. 将来像

40年の実績で培った技術と信頼を、**次世代に継承できる仕組みとして再設計**し、地質データを活用した持続可能な地質調査業務のモデルを発信していきます。将来的には、この仕組みを他の調査会社にも展開し、**業界全体の効率化と地域インフラの発展に貢献**します。